

# 平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00314)

事務事業名称 救命救急体制の充実			款 04	項 05	目 01	事業 009	整理番号 332			
現担当課名 健康推進課		係名 計画調整担当		連絡先電話番号 4528		昨年度整理番号 314				
上位施策No・施策名 13 地域医療体制の整備						予算事業区分 既定事業				
事業開始 平成16年度		実行計画事業 目標 04 施策 13 計画事業 01		02		主要事業(区政経営報告書掲載事業)				
平成26年度担当課名 地域保健課						事業評価区分 一般				
事務事業の概要	対象		すべての区民 中学生以上の区民(救急協力員)		根拠法令等 (1) (2)	杉並区急病医療情報センター運営要綱 地域における初期救急対応力整備要綱				
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		区民の急病時の不安解消を目指して、24時間365日病院探しに困らない体制を整える。緊急時に応急手当ができる区民の養成やAEDの配置により、初期救急対応力の向上を図る。医療機関への相談・苦情に応じることにより、区民が安心して医療を受けられる環境を整える。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	急病医療情報センターの利用件数 救急協力員(すぎなみ区民レスキュー)登録者数				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		365日専門の保健師・看護師が医療機関案内・相談を行う「杉並区急病医療情報センター」の運営迅速・正確に応急手当を行える区民(「救急協力員」)の養成救命講習会の実施AED(自動体外式除細動器)の設置・維持管理医療に関する相談・苦情対応を行う「医療安全相談窓口」の運営		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	救急医療体制に安心感を持つ区民の割合 区民意向調査による 救命技能を身につけた区民等の数 救命講習受講者数				
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画	平成25年度 実績	平成26年度 計画 (目標値)	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 件	22,047	20,000	20,027	20,000	18,331	20,000	91.7	
	活動指標(2)	2 人	2,197	2,400	2,417	2,600	2,573	2,800	99.0	
	成果指標(1)	3 %	59.6	63.0	70.8	65.0	70.7	70.0	108.8	
	成果指標(2)	4 人	2,052	1,500	2,338	1,500	2,701	2,500	180.1	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	39,291	40,780	38,136	41,772	38,909	50,364	平成26年度 予算執行率(%) 93.1	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	31,292	31,236	31,189	32,097	32,016	35,887		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.30	1.30	1.34	1.20	1.21	0.50	
		再任用職員数	9 人	1.95	0.00	0.00	0.00	0.00	0.90	
		非常勤職員数	10 人	0.00	2.00	2.00	1.80	1.80	3.60	
	人件費	常勤職員分	11 千円	11,310	11,219	11,564	10,572	10,660	4,405	
		再任用職員分	12 千円	7,664	0	0	0	0	3,645	
		非常勤職員分	13 千円	0	5,560	5,560	5,094	5,094	10,188	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	58,265	57,559	55,260	57,438	54,663	68,602		
	単位あたりコスト (14-6)÷1)	15 円	2,643	2,878	2,759	2,872	2,982	3,430		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 (14-20)	21 千円	58,265	57,559	55,260	57,438	54,663	68,602			
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 332			
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		急病医療情報センター運営			
		医療安全相談窓口相談員	6	人	3,152
		AEDの賃借			244
		その他（謝礼金、救命講習テキスト購入等購入）			3,545
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>区民の急病に対する安心・安全を守るための「杉並区急病医療情報センター」の利用件数は、事業の啓発及びPRなどを行いました。前年度より減少し18,331件となり、地域における初期救急力の向上を図る「救急協力員」の登録者数は、156名増えて延べ2,573名となりました。また、区民の医療への不安や悩みを解決する「医療安全相談窓口」の相談受付件数は、前年度より86件少ない1541件となっています。</p>			
		<p>救急医療体制に安心感を持つ区民の割合 平成15年度42.4% 平成25年度70.8% 【区民意向調査】 AEDを知っている区民の割合 平成17年度30.3% 平成23年度84.6% 【生活習慣行動調査】 平成21年4月 河北総合病院が区内初の小児二次救急指定病院になり、24時間365日の小児急病診療体制が整備されました。 急病医療情報センターは、都の実施する類似の事業との整合性を図り、平成23年度より開設時間を縮小しました。 平成24年度より民間高齢者施設へのAED設置助成を開始しました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>救急医療体制に安心感を持つ区民の割合 平成15年度42.4% 平成25年度70.8% 【区民意向調査】 AEDを知っている区民の割合 平成17年度30.3% 平成23年度84.6% 【生活習慣行動調査】 平成21年4月 河北総合病院が区内初の小児二次救急指定病院になり、24時間365日の小児急病診療体制が整備されました。 急病医療情報センターは、都の実施する類似の事業との整合性を図り、平成23年度より開設時間を縮小しました。 平成24年度より民間高齢者施設へのAED設置助成を開始しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>いざという時に備えAEDの操作方法・応急手当技法を学びたいという要望が、多くの区民から寄せられています。特に日中仕事をしている方々からは、夜間・休日に救命講習を希望する声が寄せられています。 医療機関の開設していない時間帯を中心に開設している「急病医療情報センター」には、急な体調不良の方々のための相談や医療機関の案内をすることで、区民の救急医療に対する安心感が増しているという声があります。</p>			
	今後の予測	<p>AEDの地域への浸透により、今後さらに、AEDの操作方法・応急手当技法を学びたいという要望が多くなるものと推測します。 子育て支援の観点からも、急な体調不良に対処する24時間の小児急病医療体制の拡充が求められていくものと推測します。</p>			
評価と課題		<p>「杉並区急病医療情報センター」の運営などにより、救急医療体制に安心感を持つ区民の割合が、平成15年度以降上昇しており、救命救急体制の充実に向けた諸事業は確実に成果を上げていますが、区有施設におけるAED未設置が課題となっており、今後の配置計画を検討していきます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	<p>急病医療情報センターの問い合わせ電話番号を短縮にするなどアクセスしやすい環境を図ります。 AEDの設置個所を増やし、AEDの未設置の区施設の減少を図ります。 緊急時や傷病者を発見した時に初期の応急手当ができるよう、区職員の応急手当の資格取得の拡大を図ります。</p>				

# 平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00315)

事務事業名称 急病診療事業の運営			款 04	項 05	目 01	事業 010	整理番号 333			
現担当課名 健康推進課		係名 計画調整担当		連絡先電話番号 4528		昨年度整理番号 315				
上位施策No・施策名 13 地域医療体制の整備						予算事業区分 既定事業				
事業開始 昭和53年度		実行計画事業 目標 04 施策 13		計画事業 01						
平成26年度担当課名 地域保健課						事業評価区分 一般				
事務事業の概要	対象 全ての区民		根拠法令等 (1) 杉並区休日夜間等急病診療事業実施要綱 (2) 杉並区歯科休日急病診療事業実施要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) 区民の急病時の不安解消を目指し、一般の医療機関での受診が困難となる夜間・休日等の時間帯においても安心して医療を受けられる体制を整える。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明		急病診療所(内科・歯科)及び薬局の利用者数 休日等急病診療事業(内科:固定・輪番、歯科:固定、薬局:固定・輪番)の利用者数 小児急病診療協力医療機関(東京衛生病院、河北総合病院)受診者数 小児急病診療事業の委託先医療機関の受診者数(東京衛生病院、河北総合病院は平成25年度まで委託)					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段) 休日等夜間急病診療所及び休日当番医の運営 歯科休日急病診療所の運営 休日等夜間薬局の運営 小児急病診療協力医療機関(東京衛生病院)の確保		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明		救急医療体制に安心感を持つ区民の割合 区民意向調査による					
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画 実績		平成26年度 計画 (目標値) 実績		平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	23,205	20,000	23,056	20,000	24,374	20,000	121.9	
	活動指標(2)	2 人	4,580	6,000	6,907	1,000	1,209	1,000	120.9	
	成果指標(1)	3 %	59.6	63.0	70.8	65.0	70.7	70.0	108.8	
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	195,543	198,281	197,928	196,073	195,724	197,417	平成26年度 予算執行率(%) 99.8	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	193,731	195,467	195,240	194,062	193,744	194,244		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.64	0.74	0.99	0.95	0.70	0.40	
		再任用職員数	9 人	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	
		非常勤職員数	10 人	0.50	0.50	0.50	0.20	0.20	0.40	
	人件費	常勤職員分	11 千円	5,568	6,386	8,544	8,370	6,167	3,524	
		再任用職員分	12 千円	197	0	0	0	0	405	
		非常勤職員分	13 千円	1,375	1,390	1,390	566	566	1,132	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	202,683	206,057	207,862	205,009	202,457	202,478		
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15 円	8,734	10,303	9,016	10,250	8,306	10,124		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	5,039	0	5,058	0	5,076	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	5,039	0	5,058	0	5,076	0		
差引:一般財源 (14-20)		21 千円	197,644	206,057	202,804	205,009	197,381	202,478		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	333
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		休日等夜間急病診療所運営業務委託	1	件	142,770
		歯科休日急病診療所運営業務委託	1	件	21,026
		小児急病診療協力医療機関業務委託	1	件	12,403
		休日等夜間薬局運営業務委託	1	件	17,469
		その他（一般需用費、保険料ほか）			2,056
	(2) 事業実績	平成26年度の実績は、休日等夜間急病事業受診者数が14,696名、小児急病診療協力医療機関受診者数が1,209名、歯科休日急病診療事業受診者数が775名、休日等夜間薬局利用者数が8,874名となりました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	救急医療体制に安心感を持つ区民の割合 平成15年度42.4% 平成26年度70.8% [区民意向調査] 平成21年4月 河北総合病院が区内初の小児二次救急指定病院になり、24時間365日の小児急病診療体制が整備されました。小児急病診療医療機関のうち、河北総合病院については小児二次救急指定移行に伴う経過措置が平成25年度に終了しました。平成23年10月より歯科休日急病診療所と歯科保健医療センターが一体での運営が始まりました。平成26年9月に救急二次指定（内科系・外科系）を受けている佼成病院が開院しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	小児急病対応については、一次救急診療については、休日等夜間急病診療所（杉並保健所内）、休日当番医、東京衛生病院、及び二次救急診療については河北総合病院と、年間を通して複数の受診機関が確保されているため、小さなお子さんを抱える家族の安心感は大きいものと推測しています。			
	今後の予測	平成27年度に移転開設される病院が、緩和ケア病床を持った在宅医療に特化した病院として開院され、区内の在宅医療の拡充が図られます。「杉並区急病等夜間診療所」については、診療科目を含めた見直しを検討し、より効率的な運営が図られます。			
	評価と課題	救急医療体制に安心感を持つ区民の割合が、平成15年度から上昇していることからもうかがえるように、急病時等の緊急時に区民の安心・安全を守るため、特に、平日夜間・休日を軸に小児急病診療体制をはじめとする急病診療体制の確保・拡充を図ってきたことが成果を上げているものと考えます。休日等夜間急病診療事業については、区監査委員から委託内容（後送病院事業等）の見直しを求められていることから、関係団体と協議を重ね、より効率的かつ効果的な休日等夜間急病診療体制の委託内容になるよう、検討していくことが課題となっています。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	区監査委員から意見がでているように、休日等夜間急病診療事業については、内容を精査して、関係団体とも協議しながら、より効率的かつ効果的な事業内容になるよう検討を行っていきます。			

# 平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00317)

事務事業名称 歯科保健医療センター事業			款 04	項 05	目 01	事業 012	整理番号 335				
現担当課名 健康推進課		係名 地域医療係	連絡先電話番号 4528			昨年度整理番号 317					
上位施策No・施策名 13 地域医療体制の整備						予算事業区分 既定事業					
事業開始	平成13年度	実行計画事業	目標 04	施策 13	計画事業 02						
平成26年度担当課名	地域保健課					事業評価区分	一般				
対象	障害等などによりかかりつけ歯科医を持たない区民。同様に一般の歯科診療所での診療が困難な区民		根拠法令等	(1)	杉並区立保健医療センター条例						
				(2)	杉並区歯科保健医療センター事業実施要綱						
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標	延べ診療件数(年間)							
	障害や疾病により一般歯科診療所での診療が困難な区民に安心して歯科診療を受けられる場を提供する。身近にかかりつけ歯科医を持ち気軽に相談できる環境をつくる。		指標名(1)	歯科保健医療センター診療件数実績							
			指標名(2)	利用者数(延べ)							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		指標説明	歯科保健医療センター登録者数							
	歯科保健医療センターの運営を東京都杉並区歯科医師会に委託により実施する。歯科保健医療センターでは、かかりつけ歯科医に関する相談、歯科医療機関の紹介等、障害や疾病により一般歯科診療所での診療が困難な区民を対象に専門的歯科治療等を行う。		成果指標	かかりつけ歯科医を持つ区民の割合							
			指標名(1)	区民意向調査による							
			指標名(2)	延べ診療件数の前年比							
			指標説明	診療件数の前年対比							
区分	単位	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度		
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標(1)	1	件	3,837	4,000	4,342	4,000	4,754	4,000	118.9	
	活動指標(2)	2	件	2,467	2,500	3,176	2,500	3,528	2,500	141.1	
	成果指標(1)	3	%	65.6	65.6	68.5	65.0	64.2	65.0	98.8	
	成果指標(2)	4	%	102.0	100.0	113.2	100.0	109.5	100.0	109.5	
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	59,818	59,957	59,655	63,315	62,665	63,999	平成26年度予算執行率(%) 99.0	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7	千円	49,780	49,873	49,872	52,952	52,869	53,817		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.25	0.30	0.20	0.20	0.15	0.10	
		再任用職員数	9	人	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10	人	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11	千円	2,175	2,589	1,726	1,762	1,322	881	
		再任用職員分	12	千円	1,179	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13	千円	1,375	1,390	1,390	0	0	0	
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	64,547	63,936	62,771	65,077	63,987	64,880		
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	16,822	15,984	14,457	16,269	13,460	16,220		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21	千円	64,547	63,936	62,771	65,077	63,987	64,880		
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			



# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	335	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単 位	事業費（千円）
		歯科保健医療センター運営業務委託		1	件	52,869
機器リース代				9,775		
その他（保険料ほか）				21		
事業環境の変化	(2) 事業実績	歯科保健医療センター歯科診療室の診療延べ件数は、4,754件となりました。				
		区議会、歯科医師会等からの要望を受け、歯科保健医療センターは平成23年10月に下井草から保健医療センター内に移転しました。移転にあわせて、区立から歯科医師会の設立として、運営することになりました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	下井草から区を中心の荻窪に移転し、交通等の利便性が向上し、利用しやすくなったとの声がありました。訪問歯科診療が杉並区歯科医師会の独自事業として再開され、好評を得ています。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	在宅医療が進んでいる背景から、歯科医師会の独自事業である訪問歯科診療の増が予想される。				
	今後の予測	平成23年10月に保健所内にある区立保健医療センターに移転開設し、診療をスタートしています。交通アクセスが向上したこと、医療機器も最新のものに更新したこと等もあり、障害者等の利用も増えています。また、歯科医師会の自主事業である訪問歯科診療についても、件数が着実に伸びており、区民の口腔衛生の向上に大きく寄与しています。				
評価と課題						
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	対象外			
	今後の進め方	一般の歯科診療所で治療ができない方に対する歯科診療を行なうことや障害者の口腔衛生の向上に寄与する態勢を整えます。また、災害時における歯科治療や口腔ケア等について、震災救援所や医療救護所などで対応できるよう歯科保健医療センターが拠点となるよう歯科医師会と協議して、災害時の態勢を整えます。				